年間授業計画

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　国語　　科目 論理国語

教　科：国語　　科　目：論理国語　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　 1 組～　 3 組

使用教科書：（ 高等学校　標準　論理国語　（第一学習者）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　『数え方で磨く日本語』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 ・具体例をもとに数え方の性質や特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本語感覚を磨き、自分の表現に活用する。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『数え方で磨く日本語』 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	B 単元　『バラと銅貨はどう違う』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・根拠や論拠を批判的に検討する。 ・似たような事例を探し、お互い意見を交換をする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『バラと銅貨はどう違う』 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時の意見交換の取り組み状況				6
	定期考査						○	○		1
	C 単元　『情けは人の』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・似たような事例を探し、お互い意見を交換をする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『情けは人の…』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時の意見交換への取り組み状況	○	○	○	9
	D 単元『犬も歩けば棒に当たる』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題について自分の考えを持ち、それを適切な文章で表現する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の多様性について理解を深める。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『犬も歩けば棒に当たる』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1

	E 単元『SNSと意見の分極化』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・本文の論展開を把握する。 ・実社会の問題に分析的に読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文のテーマを自分自身照らし合わせて考えを深める。 ・社会問題をテーマにして自分の意見をまとめることができる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『SNSと意見の分極化』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	F 単元『僕らのメディアリテラシー』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・本文の論展開を把握する。 ・実社会の問題に分析的に読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文のテーマを自分自身照らし合わせて考えを深める。 ・社会問題をテーマにして自分の意見をまとめることができる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『僕らのメディアリテラシー』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	G 単元『科学技術は暴走しているのか』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・AIなどの現状について読み取る。 ・作者の危惧と展望について読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学技術との向き合い方を考える。 ・科学技術に限らず将来との向き合い方について考えをまとめる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『科学技術は暴走しているのか』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	H 単元『推論とは何か』 【知識及び技能】 ・推論の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・推論についての説明を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・推論を使った文書を書く。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『推論とは何か』 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	J 単元『帰納法のワナ―一般化に対する疑問』 【知識及び技能】 ・帰納法の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帰納法についての説明を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・推論と帰納法について比較して考えをまとめる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『推論とは何か』『帰納法のワナ―一般化に対する疑問』 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
3学期	K 単元『哲学思想とは何か』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の体験を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の活動と自然の関係について理解を深める。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『哲学思想とは何か』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	L 単元『カブトムシから考える里山と物質循環』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間と自然の関わりの変化を読みとる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然の社会科という筆者の考察を読み解き、自分たち未来について話し合う。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『カブトムシから考える里山と物質循環』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
										合計 86

年間授業計画

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　国語　科目 論理国語

教　科：国語　科　目：論理国語　単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

使用教科書：（ 高等学校 標準 論理国語 （第一学習者） ）

教科 国語 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 『数え方で磨く日本語』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 ・具体例をもとに数え方の性質や特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本語感覚を磨き、自分の表現に活用する。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『数え方で磨く日本語』 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	B 単元 『バラと銅貨はどう違う』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・根拠や論拠を批判的に検討する。 ・似たような事例を探し、お互い意見を交換をする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『バラと銅貨はどう違う』 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時の意見交換の取り組み状況				6
	定期考査						○	○		1
	C 単元 『情けは人の』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・似たような事例を探し、お互い意見を交換をする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『情けは人の…』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時の意見交換への取り組み状況	○	○	○	9
	D 単元『犬も歩けば棒に当たる』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題について自分の考えを持ち、それを適切な文章で表現する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の多様性について理解を深める。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『犬も歩けば棒に当たる』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1

2学期	E 単元『SNSと意見の分極化』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・本文の論展開を把握する。 ・実社会の問題に分析的に読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文のテーマを自分自身照らし合わせて考えを深める。 ・社会問題をテーマにして自分の意見をまとめることができる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『SNSと意見の分極化』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	F 単元『僕らのメディアリテラシー』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・本文の論展開を把握する。 ・実社会の問題に分析的に読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文のテーマを自分自身照らし合わせて考えを深める。 ・社会問題をテーマにして自分の意見をまとめることができる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『僕らのメディアリテラシー』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	G 単元『科学技術は暴走しているのか』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・AIなどの現状について読み取る。 ・作者の危惧と展望について読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学技術との向き合い方を考える。 ・科学技術に限らず将来との向き合い方について考えをまとめる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『科学技術は暴走しているのか』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	H 単元『推論とは何か』 【知識及び技能】 ・推論の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・推論についての説明を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・推論を使った文書を書く。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『推論とは何か』 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	J 単元『帰納法のワナ―一般化に対する疑問』 【知識及び技能】 ・帰納法の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帰納法についての説明を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・推論と帰納法について比較して考えをまとめる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『推論とは何か』『帰納法のワナ―一般化に対する疑問』 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
3学期	K 単元『哲学思想とは何か』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の体験を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の活動と自然の関係について理解を深める。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『哲学思想とは何か』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	L 単元『カブトムシから考える里山と物質循環』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間と自然の関わりの変化を読みとる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然の社会科という筆者の考察を読み解き、自分たち未来について話し合う。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『カブトムシから考える里山と物質循環』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
										合計 86

年間授業計画

高等学校 令和７年度（８学年用） 教科　国語　科目 論理国語

教　科：国語　科　目：論理国語　単位数：3　単位

対象学年組：第 3 学年　5 組

使用教科書：（ 高等学校　標準　論理国語　（第一学習者）　）

教科　国語　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　『数え方で磨く日本語』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 ・具体例をもとに数え方の性質や特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本語感覚を磨き、自分の表現に活用する。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『数え方で磨く日本語』 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	B 単元　『バラと銅貨はどう違う』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・根拠や論拠を批判的に検討する。 ・似たような事例を探し、お互い意見を交換をする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『バラと銅貨はどう違う』 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時の意見交換の取り組み状況				6
	定期考査						○	○		1
	C 単元　『情けは人の』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・似たような事例を探し、お互い意見を交換をする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『情けは人の…』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時の意見交換への取り組み状況	○	○	○	9
	D 単元『犬も歩けば棒に当たる』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題について自分の考えを持ち、それを適切な文章で表現する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の多様性について理解を深める。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『犬も歩けば棒に当たる』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1

	E 単元『SNSと意見の分極化』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・本文の論展開を把握する。 ・実社会の問題に分析的に読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文のテーマを自分自身照らし合わせて考えを深める。 ・社会問題をテーマにして自分の意見をまとめることができる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『SNSと意見の分極化』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	F 単元『僕らのメディアリテラシー』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・本文の論展開を把握する。 ・実社会の問題に分析的に読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文のテーマを自分自身照らし合わせて考えを深める。 ・社会問題をテーマにして自分の意見をまとめることができる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『僕らのメディアリテラシー』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	G 単元『科学技術は暴走しているのか』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報と情報の関係について理解を深める。 ・AIなどの現状について読み取る。 ・作者の危惧と展望について読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学技術との向き合い方を考える。 ・科学技術に限らず将来との向き合い方について考えをまとめる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『科学技術は暴走しているのか』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	H 単元『推論とは何か』 【知識及び技能】 ・推論の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・推論についての説明を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・推論を使った文書を書く。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『推論とは何か』 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	J 単元『帰納法のワナ―一般化に対する疑問』 【知識及び技能】 ・帰納法の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帰納法についての説明を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・推論と帰納法について比較して考えをまとめる。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『推論とは何か』『帰納法のワナ―一般化に対する疑問』 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
3学期	K 単元『哲学思想とは何か』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の体験を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間の活動と自然の関係について理解を深める。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『哲学思想とは何か』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8
	L 単元『カブトムシから考える里山と物質循環』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間と自然の関わりの変化を読みとる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然の社会科という筆者の考察を読み解き、自分たち未来について話し合う。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書『カブトムシから考える里山と物質循環』 学習課題集 プリント ・一人１台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
										合計 86

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科　地理歴史　科目 日本史探究

教　科：地理歴史　　科　目：日本史探究　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　3 組

使用教科書：（『高校日本史　日本史探究』（山川出版社）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】地理的・歴史的事象を正確に理解し活用する力

【思考力、判断力、表現力等】複数資料を比較し多面的に考察・表現する力

【学びに向かう力、人間性等】歴史や地理を自分や社会に結び付け主体的に学ぶ態度

科目　日本史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・日本史の主要な事象・人物・制度を時代の流れの中で体系的に理解する。 ・史料や統計・地図・年表などを正しく読み取り、歴史的事実を把握する。 ・基本的な歴史用語を正確に理解し、適切に活用できるようにする。	・複数の史料や見解を比較し、妥当な解釈や結論を導く。 ・歴史的事象の因果関係や背景を多角的に考察し、現代とのつながりを見いだす。 ・調べた内容や考察を、文章・図表・口頭などで論理的に表現する。	・歴史を自らの生き方や社会の在り方に結び付けて学ぼうとする態度を養う。 ・多様な歴史的価値観や文化を尊重し、他者理解につなげる姿勢を持つ。 ・主体的・継続的に探究課題に取り組み、学びを深化させる意欲を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 序章：歴史探究とは 【知識及び技能】 歴史学習の意義と史料の種類を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 史料を手がかりに多角的に考える 【学びに向かう力、人間性等】 探究的に学ぼうとする態度を育む	≪指導項目・内容≫ ・歴史学習の意義と歴史を学ぶ目的を理解する ・史料の種類と特徴を知り、その活用方法を考える ・歴史的な問いを立て、探究の視点を養う ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 歴史学習の意義や史料の種類を正しく理解している 【思考・判断・表現】 複数の史料をもとに多角的に考察し自分の考えを説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史探究の学びに主体的に関心を示している	○	○	○	5
	B 古代社会の成立（縄文～古墳） 【知識及び技能】 古代社会の特色を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 考古資料から社会像を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 先人の生活や文化に関心を持つ	≪指導項目・内容≫ ・縄文・弥生・古墳文化の特色と社会構造を理解する ・考古学資料（遺跡・出土品など）を通して古代社会を考察する ・古代国家形成への歩みを多角的に捉える ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 縄文・弥生・古墳時代の社会や文化を正しく理解している 【思考・判断・表現】 考古資料を手がかりに古代社会の特色を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 先人の生活や文化に学ぼうとする姿勢を示している	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	C 律令国家と古代文化 【知識及び技能】 律令制度と文化の特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 律令制の意義を多面的に考える 【学びに向かう力、人間性等】 歴史文化遺産を尊重する態度を養う	≪指導項目・内容≫ ・律令制度の仕組みと政治体制を理解する ・古代の文化（飛鳥・天平文化など）の特色を学ぶ ・律令国家の意義とその歴史的影響を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 律令体制や古代文化の内容を正しく理解している 【思考・判断・表現】 律令制や文化の意義を多面的に考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史文化遺産を尊重し学びに生かそうとする態度を示している	○	○	○	8
	D 摂関政治から武士の登場へ 【知識及び技能】 摂関政治と院政・武士の台頭を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 社会変動の要因を分析する 【学びに向かう力、人間性等】 中世への移行に関心を持つ	≪指導項目・内容≫ ・摂関政治と院政の展開を理解する ・武士の成立とその背景を学ぶ ・平安時代の社会変動と中世への移行を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 摂関政治・院政・武士の台頭について正しく理解している 【思考・判断・表現】 平安中期の社会変動の要因を分析し説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 中世への移行に関心を持ち主体的に学習しようとしている	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2学期	D　鎌倉幕府の成立と中世社会 【知識及び技能】 鎌倉幕府の成立と武家政権の仕組みを理解する 【思考力・判断力・表現力等】 封建制度の特色を多面的に考える 【学びに向かう力・人間性等】 武家社会の意義に関心を持つ	≪指導項目・内容≫ ・鎌倉幕府の成立と武家政権の仕組みを理解する ・御恩と奉公など封建制度の特色を学ぶ ・中世初期の社会と文化を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 鎌倉幕府の成立経緯や御恩と奉公の仕組みを正しく理解している 【思考・判断・表現】 封建制度の特色を多面的に考察し自分の言葉で説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会への関心を持ち学習に主体的に取り組んでいる	○	○	○	5
	E 室町幕府と中世文化 【知識及び技能】 室町幕府の政治構造と文化の特徴を理解する 【思考力・判断力・表現力等】 戦国大名の統治や地域の変化を関連付けて考える 【学びに向かう力・人間性等】 多様な中世文化の価値を尊重する	≪指導項目・内容≫ ・室町幕府の政治体制と権力の変遷を理解する ・戦国大名の統治と地域社会の変化を学ぶ ・中世文化の多様性とその価値を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 室町幕府の政治体制や中世文化の特色を正しく理解している 【思考・判断・表現】 戦国大名の統治や地域社会の変化を関連付けて説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な中世文化を尊重し学習に積極的に参加している	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	F 江戸幕府の成立と近世社会 【知識及び技能】 幕藩体制の仕組みと社会構造を理解する 【思考力・判断力・表現力等】 統治と経済・社会の関係を多角的に考える 【学びに向かう力・人間性等】 江戸初期の文化や社会に学ぶ姿勢を持つ	≪指導項目・内容≫ ・幕藩体制の仕組みと支配の特色を理解する ・近世初期の経済と身分秩序を学ぶ ・江戸初期の文化や社会生活を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 幕藩体制の仕組みや社会構造を正しく理解している 【思考・判断・表現】 統治と社会経済の関わりを資料をもとに論理的に説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 江戸初期の社会や文化に学ぼうとする姿勢を示している	○	○	○	8
	G 近世の発展と文化 【知識及び技能】 元禄・化政文化の特色と社会の発展を理解する 【思考力・判断力・表現力等】 経済発展と社会変化を資料から考察する 【学びに向かう力・人間性等】 庶民文化の広がりを現代との関わりで捉える	≪指導項目・内容≫ ・元禄文化や化政文化の特色を理解する ・都市と農村の発展や流通拡大を学ぶ ・庶民文化の広がりを現代社会と関連付けて考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 元禄・化政文化の特色や近世社会の発展を正しく理解している 【思考・判断・表現】 経済発展と社会変化を関連付けて考察し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 庶民文化の広がりを現代と関連付けて学ぼうとしている	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	H 近世後期の改革と社会 【知識及び技能】 江戸後期の改革と社会の変化を理解する 【思考力・判断力・表現力等】 改革の目的と成果を多角的に考える 【学びに向かう力・人間性等】 社会変動を近代への歩みとして捉えようとする	≪指導項目・内容≫ ・江戸後期の改革の目的と内容を理解する ・改革の成果と限界を分析する ・社会変動を近代化への過程として考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 江戸後期の改革や社会変化の内容を正しく理解している 【思考・判断・表現】 改革の目的と成果を多角的に捉えその意義を説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会変動を近代への歩みとして学ぼうとする姿勢を示す	○	○	○	5
	I 明治維新と近代国家の形成 【知識及び技能】 明治維新の政治・社会改革を理解する 【思考力・判断力・表現力等】 近代国家形成の光と影を分析する 【学びに向かう力・人間性等】 近代化の意義を自らの生き方と結び付ける	≪指導項目・内容≫ ・明治維新の政治・社会改革を理解する ・近代国家の仕組みと産業化を学ぶ ・近代化の意義と課題を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 明治維新の改革や近代国家の仕組みを正しく理解している 【思考・判断・表現】 近代化の光と影を分析し自分の考えを表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の意義を自らの生き方に結び付けて学ぼうとしている	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	J 戦争と戦後改革 【知識及び技能】 日清・日露戦争から太平洋戦争までの流れを理解する 【思考力・判断力・表現力等】 戦争の背景と結果を多角的に考察する 【学びに向かう力・人間性等】 平和の価値を学び現代社会に活かそうとする	≪指導項目・内容≫ ・日清戦争から太平洋戦争までの経過を理解する ・戦争の背景と影響を多角的に学ぶ ・戦後改革の内容と民主化の意義を考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 日清戦争から太平洋戦争戦後改革までの流れを正しく理解している 【思考・判断・表現】 戦争の背景や結果を多角的に考察し現代との関連を示せる 【主体的に学習に取り組む態度】 平和の価値を学び社会に生かそうとする態度を示す	○	○	○	8
	K 現代日本と国際社会 【知識及び技能】 戦後復興から現代社会までの日本の歩みを理解する 【思考力・判断力・表現力等】 グローバル化と日本の課題を考察する 【学びに向かう力・人間性等】 持続可能な社会の実現に向けて考えを深める	≪指導項目・内容≫ ・戦後復興から現代社会までの歩みを理解する ・高度経済成長とグローバル化を学ぶ ・現代日本の課題を未来の社会と関連付けて考察する ≪使用教材≫ ・教科書、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 戦後から現代に至る日本の歩みを正しく理解している 【思考・判断・表現】 グローバル化と現代社会の課題を関連付けて考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会づくりに向けて主体的に考えようとする	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
								合計
								105

年間授業計画

野津田　高等学校　令和8年度（3学年用）　教科　公民　　科目　政治経済

教　科：　公民　　科　目：　政治経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　3 組　・　5 組

使用教科書：高等学校　新公共（第一学習社）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】　基本的な知識の習得のほか、現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりになる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　政治経済　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	民主政治の基本原理	民主政治の基本原理について理解する。	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、契約と消費者の権利・責任、司法参加の意義、政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。				9
	日本国憲法と基本的性格	日本国憲法と民主政治の諸原理と関連させて理解する。					
	基本的人権の保障	国民の基本的人権と国家の基本的な制度的な枠組みを定めた最高法規として憲法があることを理解する。	諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 中学校で学んだ知識や、他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。				
	定期考査						1
	平和主義	平和と安全の確保が、人類福祉を実現する上で欠くことのできないものであることに気付かせる。また、日本国憲法の平和主義の理解の上に立って我が国の安全保障と防衛について理解を深めさせる。	【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	
	日本の政治機構	日本国憲法の下で、それらの政治制度や政治機構がどのような理由で設けられたか、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について考察する。	【知識・技能】 国際社会と国家主権、日本の安全保障と防衛、国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。				
	現代日本の政治	現代日本の政治の特質と世界各国の政治原理について比較する。		○	○		16
	現代の国際政治	国際社会における日本の役割を理解する。	【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。				
	定期考査		【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				

2学期	経済社会の変容 現代経済のしくみ 金融のしくみ 定期考査 財政のしくみ 社会保障の役割 労使関係と労働条件の改善 格差社会と貧困 定期考査	経済活動について理解し、経済のグローバル化について考察する。 国民経済における家計、企業、政府の役割について理解する。 市場経済の機能と限界について理解する。 金融のしくみについて、金融の役割と国民経済との関連について考察する。 財政のしくみについて理解し、現代経済の課題について考察する。 社会保障の役割について理解する。 現代社会の労使関係や労働条件について理解し、今後の課題について考察する。 様々な経済格差について歴史的背景を理解し、飢餓や貧困に苦しむ国々の人々の暮らしを見ることで、国際経済格差問題の是正について、多角的に多面的に考察する。	【知識・技能】 国際社会と国家主権、日本の安全保障と防衛、国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【知識・技能】 雇用と労働問題、社会の変化と職業観、市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	12 1 16
3学期	世界経済と日本 経済協力と人間開発の課題 地球環境の保全と経済成長 地球環境と資源・エネルギー問題 国際社会における日本の役割	貿易や金融のグローバル化、第二次世界大戦後の国際経済を概観し、考察する。 地域経済統合の進展や、日本が国際社会で果たすべき役割について考察する。 環境保護と開発といった視点、国際社会の県境保全に対する取り組みについて多角的に考察する。 原子力の課題および、再生可能エネルギーの普及への課題について考察する。 日本国としての支援のみならず、市民やNGOなど、幅広い日本の役割について考察する。	【知識・技能】 ・金融のはたらき、財政の役割と社会保障、経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・課題解決に向けて事実を基に協働して考察し、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済のグローバル化、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関する現代の諸課題を、主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12 合計 70

年間授業計画

野津田　高等学校　令和8年度（3学年用）　教科　　地理歴史　　科目　歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　4

使用教科書：　新選　歴史総合(東京書籍)

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】　近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる知識を増やし、歴史の理論について理解するとともに、諸資料から、歴史理解に必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	日本や世界の歴史的課題の理解のために、選択・判断の手がかりとなる考え方や歴史的な基本知識を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察したり、構想したことを議論している。	歴史に関わる諸事象について，課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚，我が国の歴史や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて歴史的事象を通して深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　歴史の扉 １節　歴史と私たち ○諸資料を活用し，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が，日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ２節　歴史の特質と資料 ○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物，文書，図像などの資料を活用し，資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 第２章　近代化と私たち １節　近代化への問い ○交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料を活用し，近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。	・指導事項 第１章　歴史の扉 １節　歴史と私たち ２節　歴史の特質と資料 第２章　近代化と私たち １節　近代化への問い	【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について，諸資料から，情報を適切に読み取ったり，まとめたりしている。 【思考・判断・表現】 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し，表現する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現する。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性】 ・科目全体の学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。	○	○	○	10
	(定期考査)			○	○		1
	第2章　近代化と私たち 2節　結びつく世界と日本の開国 ①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，工業化と世界市場の形成を理解する。	・指導事項 第2章　近代化と私たち 2節　結びつく世界と日本の開国 1　18世紀の東アジア 2　結び付くアジア諸地域 3　18世紀のヨーロッパとアジア 4　産業革命のはじまり 5　世界市場の形成 6　東アジア国際関係の変化と日本の開国 7　世界経済の変化と日本の産業革命	【知識・技能】 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性】 ・近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	12
	(定期考査)			○	○		1

	第２章　近代化と私たち ３節　国民国家と明治維新 ①国民国家の形成の背景や影響などに着目して，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，立憲制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ４節　近代化と現代的な諸課題 ○自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点を基に主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 (定期考査)	第２章　近代化と私たち ３節　国民国家と明治維新 1　市民革命と近代社会 2　自由主義とナショナリズム 3　アジアの諸国家とその変容 4　明治維新と東アジアの国際関係 5　立憲制の広まり 6　帝国主義と植民地 7　日清戦争と華夷秩序の解体 8　帝国主義諸国の競合と国際関係 9　植民地支配と植民地の近代 10　20世紀はじめの世界 ４節　近代化と現代的な諸課題	【知識・技能】 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性】 ・近代化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○ ○	○ ○	○	13 1
２学期	第3章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節　国際秩序の変化や大衆化への問い ○国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などに関する資料を活用し，国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。 2節　第一次世界大戦と大衆社会 ①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 (定期考査)	第3章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節　国際秩序の変化や大衆化への問い 2節　第一次世界大戦と大衆社会 1　大衆社会の時代 2　第一次世界大戦の展開 3　国際協調体制の形成 4　ソヴィエト連邦の成立と社会主義 5　アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 6　アジアの経済成長と移動する人々 7　反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 8　民主主義の拡大と社会変革の動き 9　マスメディアの発達と日常生活	【知識・技能】 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について，諸資料から，情報を適切に読み取ったり，まとめたりしている。 ・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。 ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○ ○	○ ○	○	13 1

3学期	第３章　国際秩序の変化や大衆化と私たち ３節　経済危機と第二次世界大戦 ①経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際協調体制の動揺を理解する。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 第４章　グローバル化と私たち １節　グローバル化への問い ○冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し，グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し，問いを表現する。 ２節　冷戦と世界経済 ①地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを (定期考査)	第３章　国際秩序の変化や大衆化と私たち ３節　経済危機と第二次世界大戦 １　世界恐慌 ２　アジア・アフリカと大衆社会 ３　国際協調体制の崩壊 ４　日中戦争と深刻化する世界の危機 ５　第二次世界大戦の勃発 ６　第二次世界大戦における連合国と戦後構想 ７　アジア太平洋戦争と日本の敗戦 ８　連合国の占領政策と冷戦 ９　再編されるアジアと冷戦 第４章　グローバル化と私たち １節　グローバル化への問い ２節　冷戦と世界経済 １　冷戦の拡大と第三勢力 ２　キューバ危機と核兵器の管理 ３　脱植民地化の進展と地域紛争 ４　計画経済と開発 ５　冷戦下の日本とアジア	【知識・技能】 ・世界恐慌，ファシズムの伸長，日本の対外政策などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考・判断・表現】 ・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○ ○	○ ○	○	17 1
							合計
							70

年間授業計画

野津田　高等学校　令和8年度（3学年用）　教科　地理歴史　科目　地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　5 組

使用教科書：「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」，「新詳高等地図」

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力，判断力，表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力，人間性等】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

諸地域の多様

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
		第１章　地図とＧＩＳの活用					
1学期	・地球上の位置情報の基礎として，球体としての地球，緯度・経度の基本的なしくみ，地球上での位置の示し方を理解する。 ・経度の違いから時差の概念を捉え，日常生活における時差計算の技能を身につけ，球面として成り立つ世界認識をもつ。	第１節　球面上の世界	地球上での位置，太陽高度の変化，緯度経度のしくみ，時差の計算について理解できたか。	○			3
			球体としての地球の観点から，図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え，説明できたか。		○		
			球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し，作業や考察に取り組むことができたか。			○	
	・図法によって異なる世界地図の特色を捉え，スケール，視点，図法などを変化させながら，世界における日本の位置を理解する。 ・グローバルな立場から日本の領域を理解するために，国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら，日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。	第２節　日本の位置と領域	世界地図の主な図法と利用について理解し，国家の領域に関する知識を身につけ，日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。	○			4
			世界地図を図法の違いにより使い分けること，日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察できたか。		○		
			様々な世界地図の違いに関心を持ち，資料などから様々な世界地図の存在に気づくこと，日本の領域に関する問題について，意欲的に探究し，海洋資源の問題とともに考えることができたか。			○	
	・グローバル化が進む世界において，国家間の協調や不均衡を理解するために，世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 ・交通・通信，貿易・物流，観光の視点から，人やもの，情報，資本・サービスの移動のようすについて，統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 ・グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために，資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。	第３節　国内や国家間の結びつき	人・モノ・情報の結びつきに関する知識や，統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。主題に対して適切な統計地図を作成できたか。	○			6
			複数の統計地図を結びつけ，世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。		○		
			統計資料を意欲的に読み取り，それを表現できたか。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。			○	
	・身近な地図を集め，それらの地図の特徴を捉え，地図情報の有用性を理解する。 ・地図情報を活用する方法として，紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し，地理院地図や地形図を通して認識する。 ・GISが日常生活にも利用されている実例を捉え，大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法，そのしくみについて理解する。 ・GISで作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。	第４節　暮らしのなかの地図とGIS	GISの特徴や利用方法，そのしくみについて理解し，GISで作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法を身につけたか。地理院地図などインターネット上のGISの機能を利用し，地理空間情報を活用できたか。	○			4
			身近な地図について，目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。紙の地形図と電子地図の用途や活用について，地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。		○		
			身の回りの地図に興味を持ち，意欲的に地図の知識を活用できたか。GISの作業に意欲的に取り組み，GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。			○	
		第２章　地理的環境の特色					
	・世界の大地形の広がりがプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し，変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し，地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。 ・河川，海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり，およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について，写真や地形図などの資料を通して考える。	第１節　地形と生活文化	地形についての知識を身につけ，世界的視野から地形の分布の特徴，および地形図から等高線や地図記号などを判読し，地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。	○			4
			世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ，世界の地形配置と比較し，また生活している地域の地形の特徴について，写真，地形図などから捉え，人間生活との関連を考察できたか。		○		
			地形図や分布図，写真，模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み，地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。			○	

・世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え，地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 ・降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え，植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 ・熱帯，乾燥帯，温帯，亜寒帯，寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか，どのような生活の工夫があるのか，写真や雨温図などの資料から考える。	第２節　気候と生活文化	大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみ，各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し，各気候と植生の対応や，それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り，整理できたか。	○			5
		世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していること，気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに，各気候により景観が異なることを捉え，農業や生活への影響を，資料をもとに考察できたか。		○		
		雨温図や写真の判読を通じて，世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。			○	
・世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え，世界スケールにおける第1次産業，第2次産業，第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。 ・産業の発達と生活文化がどのようにかかわるのか，産業はどのように変化してきているのか，主題図などの資料を通じて理解を深める。	第３節　産業と生活文化	世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。	○			4
		自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。		○		
		身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。			○	
・世界でみられる生活文化の多様性について，宗教，言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 ・世界の少数民族，移民，難民の問題を捉えながら，マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し，自他の文化を尊重する社会の実現を考える。	第４節　宗教・言語と生活文化	世界の多様性を理解し，異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。	○			3
		生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え，また世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え，考察できたか。		○		
		世界の宗教の特徴をまとめ，身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。難民と移民の問題構造を調べ，難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。			○	
	第３章　世界各地の生活文化					
・社会経済システムの変化に焦点を当て，東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。 ・特に世界や日本，中国，韓国の3か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程ついて理解し，経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。	第１節　経済発展と生活文化の変化～東アジア	図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え，課題を整理できたか。中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。	○			4
		中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について，主題図などの資料をもとに考察できたか。日中韓の連携を学習内容から見出し，新しい関係づくりを捉えることができたか。		○		
		身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ，中国や韓国の経済成長と課題について，日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。			○	
・多民族社会と地域統合に焦点を当て，様々な言語や宗教をもつ東南アジア諸国の人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか，主題図や写真などの資料をもとに理解する。 ・特に仏教，イスラム教，キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性や多言語・多民族社会の様子，また豊かな資源を背景に経済発展を遂げるASEAN諸国の現状と課題について考える。	第２節　宗教の多様性と生活文化　～ASEAN諸国	地形についての知識を身につけ，世界的視野から地形の分布の特徴，および地形図から等高線や地図記号などを判読し，地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。	○			5
		世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ，世界の地形配置と比較し，また生活している地域の地形の特徴について，写真，地形図などから捉え，人間生活との関連を考察できたか。		○		
		地形図や分布図，写真，模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み，地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。			○	
・水資源に焦点を当て，地形，気候などの自然環境を捉えながら，水資源と宗教，農業，文化や産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。 ・経済成長を背景とした水資源の課題を周辺国とのつながりから考える。	第３節　水の恵みと生活文化 ～南アジア	図版や写真から自然環境を捉え，生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。水の恵みを受けた農業と生活文化の関わりについて理解できたか。	○			2
		インドを例に自然環境と農業のつながりを資料をもとに考察できたか。経済発展による生活文化の変化と，それに伴う水問題の課題について考察できたか。		○		
		生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など，地域の課題を多角的，多面的に探究できたか。			○	
・イスラームに焦点を当て，気候条件，宗派の違い，聖地メッカからの距離，エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。 ・ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。 ・社会問題の例として，パレスチナやエルサレムの問題，少数民族の問題を民族・言語の分布から理解する。	第４節　イスラーム社会の多様性と生活文化　～イスラーム圏	図版や写真からイスラームの特徴を捉え，自然環境と生活文化との対応，またイスラーム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。豊富なエネルギー資源による恵みと生活文化の変化を理解できたか。	○			4
		写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで，写真と地図を組み合わせて考察し，イスラーム圏の生活文化を説明できたか。地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。		○		
		イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ，圏内の共通点や相違点を探究できたか。課題がどのように日本と関わっているかを考え，日本や自身が取り組むべきことは何かを追究できたか。			○	
・自然環境と生活文化の対応とその多様さに焦点を当て，モノカルチャー経済の構造は残りながらも，多様性に富む自然環境や食文化をもち，資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通じて理解する。 ・経済成長や開発などを背景としたアフリカの課題を自然環境と生活文化の関わりから考える。	第５節　多様な気候と生活文化 ～アフリカ	図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え，自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。生活文化を地形や気候と関連づけ，農業と食文化の関連について理解できたか。	○			3
		地形，気候，歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ，アフリカの課題について捉え，課題やその対策を説明できたか。		○		
		食文化や生活の工夫を調べ，多様な自然環境の広がりとの対応を見出し，意欲的に探究できたか。アフリカの課題をまとめ，SDGsをふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。			○	

2学期	・産業の発達と地域統合に焦点を当て，ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景を捉え，気候，言語・宗教の分布などを関連させながら主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。 ・地域統合の長所とともにイギリスのEU離脱や加盟各国の移民排斥の動きの強まりなどの課題を整理する。 ・地域間格差が生じている現状を捉え，これからのヨーロッパのよりよい社会を目指して課題について考える。	第６節　経済統合による生活文化の変化 ～EUと周辺諸国	図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え，自然環境や言語，宗教と関連づけて整理できたか。産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。言語や宗派の違いを乗り越えEUが統合する背景を理解できたか。	○			3
			ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について，主題図をもとに考察できたか。EUへの加盟国と離脱する国があることをふまえ，EU統合に伴う生活への影響を考察し，今後の課題について資料をもとに協議できたか。		○		
			農業，工業の特徴を捉えるとともに，気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。			○	
	・寒冷な自然環境に焦点を当て，ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など，自然環境と人々の生活との対応を理解する。 ・豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国や日本など東アジアとの結びつきや近年の開発による自然環境への影響を考える。	第７節　寒冷な気候と生活文化 ～ロシア	図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え，生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。 周辺国との関連から産業の発展を捉え，経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。	○			3
			寒冷な気候と生活文化との関連を捉え，開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。 日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え，自然環境の変化による影響を協議できたか。		○		
			寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。 経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。			○	
	・社会経済システムのグローバル化に焦点を当て，主題図や写真などの資料を通じて，民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。 ・企業的農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。 ・アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。	第８節　グローバル化による生活文化の変化 ～アメリカ・カナダ	図版や写真からアメリカの産業を捉えながら，世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え，アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。	○			4
			グローバルな観点やからアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え，世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。産業や世界の貿易体制の変化を考察し，それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。		○		
			アメリカの社会経済システムを農業，工業などの観点から多面的，多角的に捉え，世界への影響を意欲的に探究できたか。アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え，世界への影響をふまえながら追究できたか。			○	
	・開発に焦点を当て，ラテンアメリカで様々な人びとが生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について，主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響，そして近年の社会経済システムの変化から捉える。 ・鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え，その解決に向けた取り組みを考える。	第９節　土地の開発による生活文化 の形成～ラテンアメリカ	図版や写真から開発の背景を捉え，開発と自然環境，生活文化，産業との関わりを整理できたか。資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。	○			3
			図版と写真から，自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について，課題とともに協議できたか。		○		
			自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，開発の背景について意欲的に探究できたか。都市問題や経済問題，環境問題などについて意欲的に調べ，その要因と解決について協議できたか。			○	
	・開発に焦点を当て，オーストラリアとニュージーランドの自然環境の違いを比較し，主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業を捉え，両国の生活文化の違いを理解する。 ・オーストラリアとニュージーランドの生活文化の歴史的背景や現状と将来について，周辺国とのつながりや多文化社会と関連づけて考える。	第10節　植民と移民による生活文化 の形成～オセアニア	図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。	○			2
			2つの国の開発の背景を比較し，共通点と相違点を考察できたか。開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。		○		
			2つの国を比較して開発の背景を捉え，植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。2つの国の課題を整理し，貿易や移民の変化を追究できたか。			○	
		第３章　地球的課題と国際協力					
	・持続可能な地球社会を考えるうえで，地球規模で起きている環境問題は，一国だけで対応できるものではないこと，多面的・多角的に考えていくことが必要であること，自らとかかわる問題であることをSDGsをふまえて認識する。 ・深刻な地球環境問題を生じている大気汚染，森林減少，砂漠化，気候変動について事例をあげて捉え，それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。	第１節　地球環境問題	持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図，統計資料などから，環境問題の現状や原因を情報収集できたか。環境問題の現状を捉え，原因や影響を図解して整理できたか。	○			2
			世界のどこで，どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ，持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。SDGsの目標をふまえ，海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。		○		
			地球環境問題のしくみや原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し，どのような行動ができるかを追究できたか。			○	

3学期	・地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え，偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 ・エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し，これらの解決のための取り組みをSDGsと関連づけて考える。	第２節　資源・エネルギー問題	主題図から資源の分布が偏在していることを理解できたか。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。	○			2
			主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し，SDGsの目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。		○		
			日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ，その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し，持続可能な利用について追究できたか。			○	
	・人口が急増している世界の現状を捉えるとともに，人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え，人口問題の背景や問題点を整理する。 ・持続可能な社会をつくるために，飢餓とその要因である人口問題，食料問題について，主題図やグラフなどの資料を集め，グローバル，ローカルのそれぞれ異なる視点から根拠をもとにSDGsと関連づけ対応策を構想する。	第３節　人口・食料問題	世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し，人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。世界の食料問題を主題図などから現状を認識し，その自然的，社会的な背景を理解できたか。	○			2
			世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ，日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し，その背景とSDGsの目標をふまえ，とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議できたか。		○		
			世界や主要国の人口の推移を捉え，他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら，両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し，国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究できたか。			○	
	・世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り，人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえ理解する。 ・途上国の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え，問題の要因を理解しながら，都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ，SDGsと関連づけ都市問題の解決策を考える。	第４節　居住・都市問題	世界の視野で都市人口率の増加を捉え，都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できたか。人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。	○			2
			都市への人口集中を主題図やグラフから捉え，都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。人口集中と都市問題の発生，途上国と先進国の都市問題を通じ，人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し，SDGsの目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。		○		
			世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え，都市問題の事例をもとに多角的，多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に，国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。			○	
		第４章　生活圏の諸課題					
	・日本列島の地形と気候の特徴を主題図，グラフ，写真などの資料をもとに，多様性や自然の恩恵があることを認識しながら，自然災害を与える要素があることを理解する。 ・日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため，風水害，火山，地震・津波，都市型の災害の具体的な事例について，新旧の地形図，ハザードマップ，気象情報，電子地図などを利用する技能とともに捉える。 ・自然災害はどのような自然環境と関係しているのか，それに対する備えはどうすれば良いのか考え，居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	第１節　日本の自然災害と防災	日本の自然環境の特徴と生活文化との関わり，日本列島における自然災害について具体的事例を通じて，災害のしくみや特徴，地域性，防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し，防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。	○			2
			日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から，また日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り，それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。自らの生活圏の防災について，資料から適切に判断し，課題と避難行動を協議できたか。		○		
			自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し，過去の災害事例を調べることができたか。GISなどを活用し，自然災害への対策を意欲的に探究できたか。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ，身近な地域で発生が予想される場面を想定して，意欲的に対策を検討できたか。			○	
	・日本が抱える地域的な課題について，身近な地域を例に取り上げ，人口の少子高齢化，過疎化について景観観察や聞き取りを通じた調査の技能を身につける。 ・現地調査と統計資料によって得られた結果を主題図などにまとめ，他地域と比較して考察する技能を身につける。 ・調査結果をもとに，地域の活性化に向けたまちづくりのプランを発表する。	第２節　生活圏の諸課題と地域調査	地域的な課題についての調査法，統計資料を収集して，それを主題図に表現する方法，調査結果を主題図などにまとめ，他地域と比較して考察する技能を身につけることができたか。	○			2
			調査で得られた結果を，主題図や表などに整理できたか。得られた資料を根拠にして，地域の特徴や課題を見つけ，まちづくりのプランを構想できたか。		○		
			身近な地域に様々な課題があることを見出し，意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できたか。主題図などの調査結果を根拠にして，意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し，発表できたか。			○	
							合計
							78

年間授業計画

野津田　高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　数学　科目　数学Ａ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　3 組

使用教科書：　実教出版　新編数学Ａ

教科　数学　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ａ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確立についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に会食したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動とのかかわりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　場合の数と確率 【知識及び技能】 集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができるようになる。 簡単な場合の数を、順列や組合せの考えを利用して求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 場合の数や順列、組合せを求めるときの基本的な考え方について理解を深めることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数を求める考え方を事象の考察に活用できるようになる。 身近な事柄にも順列や組合せの考え方が用いられること興味をもちそれらの事象の考察に活用できるようになる。	・指導事項 第1章　場合の数と確率 集合 集合と要素の個数 和の法則と積の法則 順列 組合せ ・教科書、問題集 プリント	【知識・技能】 共通部分や和集合、全体集合、補集合などの集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 順列や組合せの意味を理解し、公式を利用することができる。さまざまな場合の数を順列の考えを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 ものを数え上げるのに集合を利用して考察することができる。 順列・組合せの総数の関係を理解し、その総数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の考えについて興味をもち、いろいろな集合を表そうとする。 さまざまな場合の数を求めるのに、順列の考え方が使えることに、興味・関心をもつ。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第1章　場合の数と確率 【知識及び技能】 確率の意味と確率を求めるときの基本的な法則についての理解を深め活用できるようになる。 【思考・判断・表現】 物事の起こりやすさを同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の意味や法則を事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 第1章　場合の数と確率 事象と確率 確率の計算 独立な試行と確率 条件つき確率 期待値 ・教材 教科書、問題集 プリント	【知識・技能】 確率の定義を理解し、簡単な確率を求めることができる。 確率の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結び付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2学期	第３章　数学と人間の活動 【知識及び技能】 公約数や公倍数を求める方法を理解し、数の表示や計算についての知識を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 素因数分解、ユークリッドの互除法などの方法を身につけ、さまざまな方法で整数の性質を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 整数の性質について関心を持つとともに、それを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 約数と倍数 ユークリッドの互除法 ２進法 ・教材 教科書、問題集 プリント	【知識・技能】 基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査 第２章　図形の性質 【知識及び技能】 図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 角の大きさや辺の長さを求めるのに、図形のどの性質を使えばよいかが判断できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 第２章　図形の性質 角の二等分線 三角形の外心内心重心 円周角の定理 ・教材 教科書、問題集 プリント	【知識・技能】 角の二等分線と線分の長さの比の定理を理解し、それを用いて辺や線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察することができる。 円周角の定理の逆を理解し、等しい角に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の基本的な性質についてすでに学んだ事象を思い出し、それらを活用できる場面を見出そうとしている。	○ ○	○ ○	 ○	1 13
	定期考査			○	○		1
3学期	第２章　図形の性質 【知識及び技能】 円に関する基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや線分の長さを求めることができるようになる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質を見出し、それらを事象の考察に活用できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形についてのさまざまな性質についてそれらを観察したり考察したりすることで、空間認識力の育成を図る。	・指導事項 第２章　図形の性質 円に内接する四角形 方べきの定理 空間図形 ・教材 教科書、問題集 プリント	【知識・技能】 円に内接する四角形の性質や方べきの定理などを理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 円と直線を動的にとらえ、それらの位置関係を考察することができる。 多面体の頂点、辺、面の数に関して成り立つ性質を具体的な例によって確認し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 四角形が円に内接する条件に興味をもち、考察しようとする。 相似を利用した方べきの定理の導き方に興味をもつ。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　理科　科目 物理基礎

教　科：理科　　科　目：物理基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　4 組～　5 組

使用教科書：　改訂　新編　物理基礎（東京書籍）

教科　理科　の目標：　自然の事物・現象に関わり、理科の味方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】　自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　観察、実験などを行い、探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の表し方についての観察，実験などを通して，物理量の測定と扱い方，運動の表し方，直線運動の加速度について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動の表し方について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	運動の表し方に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１編１章　運動の表し方 【知識及び技能】 時刻と時間，移動距離と変位，速さと速度の違いを理解する。 v-t グラフ，x-t グラフの特徴を理解する。 運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解する。 自由落下や投げ上げ、投げ下ろしによる運動がどのような運動か理解し，その加速度について理解する。 物体の運動は水平方向と鉛直方向に分けて考えることができることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 その運動の特徴を考察し，グラフを用いて正確に表現する。 実験結果をどのように分析すればよいかを科学的に考察する。 自由落下運動や等加速度直線運動、投げ下ろした物体、投げ上げた物体、水平投射された物体の運動のようすを表す式の導き方を理解し，表現する。 【学びに向かう力・人間性等】 身近な物の運動に見られる現象について，自分の体験等を踏まえて考える。 中間考査 １編２章　さまざまな力とそのはたらき 【知識及び技能】 力の 3 要素と，2 つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解する。 力の合成と分解について，作図を通して理解する。 慣性の法則や運動方程式、作用・反作用の法則、物体にはたらく重力について理解する。 静止摩擦力と動摩擦力の共通点や相違点を理解する。 水中の物体にはたらく水圧や浮力と，アルキメデスの原理ついて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 物体にはたらく力，物体に生じる加速度，物体の質量についての関係を定量的に調べ実験結果を科学的に分析，考察し，表現する 。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりのさまざまな物体にはたらく力について主体的に考え，その性質や共通点などについて考える。 期末考査	１編１章　運動の表し方 ①運動の表し方 ②等速直線運動 ③合成速度と相対速度 ④直線運動の加速度 ⑤落体の運動 実験 教材 教科書、プリント 中間考査 １編２章　さまざまな力とそのはたらき ①力とつり合い 実験 ②運動の法則 ③さまざまな運動とはたらく力 実験 教材 教科書、プリント 期末考査	１編１章　運動の表し方 【知識及び技能】 時刻と時間，移動距離と変位，速さと速度の違いを理解している。 v-t グラフ，x-t グラフの特徴を理解している。 運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解している。 自由落下や投げ上げ、投げ下ろしによる運動がどのような運動か理解し，その加速度について理解している。 物体の運動は水平方向と鉛直方向に分けて考えることができることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 その運動の特徴を考察し，グラフを用いて正確に表現している。 実験結果をどのように分析すればよいかを科学的に考察している。 自由落下運動や等加速度直線運動、投げ下ろした物体、投げ上げた物体、水平投射された物体の運動のようすを表す式の導き方を理解し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 身近な物の運動に見られる現象について，自分の体験等を踏まえて考えようとしている。 中間考査 １編２章　さまざまな力とそのはたらき 【知識及び技能】 力の 3 要素と，2 つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解している。 力の合成と分解について，作図を通して理解している。 慣性の法則や運動方程式、作用・反作用の法則、物体にはたらく重力について理解している。 静止摩擦力と動摩擦力の共通点や相違点を理解している。 水中の物体にはたらく水圧や浮力と，アルキメデスの原理ついて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 物体にはたらく力，物体に生じる加速度，物体の質量についての関係を定量的に調べ実験結果を科学的に分析，考察し，表現している 。 【学びに向かう力・人間性等】 身のまわりのさまざまな物体にはたらく力について主体的に考え，その性質や共通点などについて考えようとしている。 期末考査	○ ○	○ ○	○ ○	12 14

２ 学 期	１編３章　力学的エネルギー ２編１章　熱 【知識及び技能】 仕事とエネルギーの関係，仕事の原理、仕事率について理解する。 運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し，定量的に表す。 力学的エネルギーが保存される場合、保存されない場合について理解する。また，熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている（エネルギー保存の法則が成り立つ）ことを理解する。 熱と温度について理解する。 熱がエネルギーであることや物質の三態と潜熱について理解する。 熱量の保存や熱力学第１法則を理解する。 熱効率と可逆変化，不可逆変化について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 仕事とエネルギーの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現する。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現する。 【学びに向かう力・人間性等】 仕事や仕事率、エネルギーついて考察し，表現しようとする。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察する。 中間考査	１編３章　力学的エネルギー ①エネルギーと仕事 ②運動エネルギーと位置エネルギー ③力学的エネルギーの保存 ④力学的エネルギーが保存されない場合 実験 ２編１章　熱 ①温度と熱 実験 ②熱の移動と保存 ③熱と仕事 ④熱効率と不可逆変化 実験 教材 教科書、プリント 中間考査	１編３章　力学的エネルギー ２編１章　熱 【知識及び技能】 仕事とエネルギーの関係，仕事の原理、仕事率について理解している。 運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し，定量的に表すことができる。 力学的エネルギーが保存される場合、保存されない場合について理解している。また，熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている（エネルギー保存の法則が成り立つ）ことを理解している。 熱と温度について理解している。 熱がエネルギーであることや物質の三態と潜熱について理解している。 熱量の保存や熱力学第１法則を理解している。 熱効率と可逆変化，不可逆変化について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 仕事とエネルギーの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察している。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 仕事や仕事率、エネルギーついて考察し，表現しようとしている。 物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察している。 中間考査	○	○	○	8
	【知識及び技能】 波は振動であることを理解し，波源や媒質について理解している。また，直線状に伝わる波の波形について理解する。 y－ x グラフとy－t グラフとの関係を理解している。また，波の速さ，周期，振動数，波長の関係を理解する。 波の独立性と波の重ね合わせの原理、定在波について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 中学校の既習事項から，　P 波や S 波について考え，自分なりにそれらの相違点について考え，表現する。 波が重なって定在波ができるようすを，作図を通して表現する。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現する。 気柱内に定在波が生じると予測し，それを調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現する。 【学びに向かう力・人間性等】 人がつくるウェーブや，リボンを付けたつる巻ばねがつくる波について，異なる点や気付いたことを考えたり表現しようとする。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考える。 気柱内に定在波が生じると予測し，それを調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考える。 期末考査	２編２章　波 ①波を表す ②波の重ね合わせ 実験 ③音の性質 ④弦の固有振動 ⑤気柱の固有振動 実験 教材 教科書、ワーク、プリント 期末考査	【知識及び技能】 波は振動であることを理解し，波源や媒質について理解している。また，直線状に伝わる波の波形について理解している。 y－ x グラフとy－t グラフとの関係を理解している。また，波の速さ，周期，振動数，波長の関係を理解している。 波の独立性と波の重ね合わせの原理、定在波について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 中学校の既習事項から，　P 波や S 波について考え，自分なりにそれらの相違点について考え，表現している。 波が重なって定在波ができるようすを，作図を通して表現している。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現している。 気柱内に定在波が生じると予測し，それを調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現している。 【学びに向かう力・人間性等】 人がつくるウェーブや，リボンを付けたつる巻ばねがつくる波について，異なる点や気付いたことを考えたり表現しようとしたりしている。 固有振動の特徴を調べるために実験を行い，得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。 気柱内に定在波が生じると予測し，それを調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。 期末考査	○	○	○	8
				○	○	○	12
３ 学 期	２編３章　電気 ２編４章　エネルギーとその利用 【知識及び技能】 静電気や原子構造，電流の大きさの表し方や向き，電圧について理解する。 オームの法則について理解する。 ２つの抵抗を直列接続，もしくは並列接続したときの合成抵抗について理解する。 電力と電力量，ジュール熱について理解する。 電磁誘導の法則を理解している。また，発電所では，発電機を回転させることで発電を行っていることを理解する。 エネルギーがどのように形を変えるかを理解し，エネルギー保存の法則を理解する。 原子核の表し方と同位体，放射線と半減期について理解する。 放射線の性質を理解し，放射線が身のまわりで利用されていることや人体へ与える影響について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立て，それを調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現する。 電流を流した導線のまわりに起きる変化について考察し，表現する。 放射線測定器で身のまわりの放射線を測定したり，放射線源と測定器の距離を変えながら放射線を測定したりすることで，放射線から身を守るためにどのようなことが有効か科学的に考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとする。 持続可能な社会の実現へ向けたエネルギー利用の取り組みに関して自ら調べる。 ２編終章　物理学が拓く世界 【知識及び技能】 日常生活や社会と物理学がどのように関わっているか，身近な科学技術を例に理解する。 学年末考査	２編３章　電気 ①電流と電圧 ②電気抵抗 ③抵抗の接続 ④電気とエネルギー 実験 ⑤直流と交流 ⑥電磁波 教材 教科書、プリント ２編４章　エネルギーとその利用 ①エネルギーの変換と保存 ②原子核のエネルギー ③熱と仕事 ④エネルギーの利用と課題 教材 教科書、プリント ２編終章　物理学が拓く世界 ①物理学が拓く世界 教材 教科書	２編３章　電気 ２編４章　エネルギーとその利用 【知識及び技能】 静電気や原子構造，電流の大きさの表し方や向き，電圧について理解している。 オームの法則について理解している。 ２つの抵抗を直列接続，もしくは並列接続したときの合成抵抗について理解している。 電力と電力量，ジュール熱について理解している。 電磁誘導の法則を理解している。また，発電所では，発電機を回転させることで発電を行っていることを理解している。 エネルギーがどのように形を変えるかを理解し，エネルギー保存の法則を理解している。 原子核の表し方と同位体，放射線と半減期について理解している。 放射線の性質を理解し，放射線が身のまわりで利用されていることや人体へ与える影響について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立て，それを調べるために実験を行い，　得られた実験結果を科学的に分析，考察し，表現している。 電流を流した導線のまわりに起きる変化について考察し，表現している。 放射線測定器で身のまわりの放射線を測定したり，放射線源と測定器の距離を変えながら放射線を測定したりすることで，放射線から身を守るためにどのようなことが有効か科学的に考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 得られた実験結果を科学的に分析，考察し，他人の実験結果や考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。 持続可能な社会の実現へ向けたエネルギー利用の取り組みに関して自ら調べている。 ２編終章　物理学が拓く世界 【知識及び技能】 日常生活や社会と物理学がどのように関わっているか，身近な科学技術を例に理解している。 学年末考査	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	10 5 1
							合計 70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　保健体育　科目　体育（男女共習）

教　科：保健体育　　科　目：体育（男女共習）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　4 組

使用教科書：

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目　体育（男女共習）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。	〈スポーツテスト〉 スポーツテストの指数を向上させるために練習を行う。 〈球技〉 ①サッカー リフティング、キックの練習（インサイド・インステップ・インフロント：パス・シュートへの適用） トラップ、ドリブル・フェイント 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ ②バドミントン サービス、フォアハンド、バックハンド、ロブ、ヘアピン、オーバーヘッドストローク、ゲーム ③ソフトボール キャッチボール、守備、バッティング、ルールの理解、ゲーム ④卓球 フォアハンドストローク、ハーフボレー、ショートカット、カットサービス、左右へのフットワーク ⑤バスケ パス、ドリブル、シュート、フェイント、ゲーム 〈体育理論〉 ◇スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展 （ア）スポーツの歴史的発展と多様な変化 （イ）現代のスポーツの意義や価値 （ウ）スポーツの経済的効果と高潔さ （エ）スポーツが環境や社会にもたらす影響 ◇運動やスポーツの効果的な学習の仕方 （ア）運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 （イ）スポーツの技術と技能及びその変化 （ウ）運動やスポーツの技能の上達過程 （エ）運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	〈スポーツテスト・陸上〉 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。 〈水泳〉 【知識及び技能】 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり早く泳ぐことができる。 ・・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり早く泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。 〈体育理論〉 【知識う及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方ついて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学習に積極的に取り組むこと。	○	○	○	22
2学期	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。			○	○	○	26
3学期	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。			○	○	○	22
							合計 70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　保健体育　科目　体育（男女共習）

教　科：　保健体育　　科　目：　体育（男女共習）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　3 組

使用教科書：

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】　各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目　体育（男女共習）　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。	〈スポーツテスト〉 スポーツテストの指数を向上させるために練習を行う。 〈球技〉 ①サッカー リフティング、キックの練習（インサイド・インステップ・インフロント：パス・シュートへの適用） トラップ、ドリブル・フェイント 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ ②バドミントン サービス、フォアハンド、バックハンド、ロブ、ヘアピン、オーバーヘッドストローク、ゲーム ③ソフトボール キャッチボール、守備、バッティング、ルールの理解、ゲーム ④卓球 フォアハンドストローク、ハーフボレー、ショートカット、カットサービス、左右へのフットワーク ⑤バスケ パス、ドリブル、シュート、フェイント、ゲーム 〈体育理論〉 ◇スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展 （ア）スポーツの歴史的発展と多様な変化 （イ）現代のスポーツの意義や価値 （ウ）スポーツの経済的効果と高潔さ （エ）スポーツが環境や社会にもたらす影響 ◇運動やスポーツの効果的な学習の仕方 （ア）運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 （イ）スポーツの技術と技能及びその変化 （ウ）運動やスポーツの技能の上達過程 （エ）運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	〈スポーツテスト・陸上〉 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。 〈水泳〉 【知識及び技能】 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり早く泳ぐことができる。 ・・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり早く泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取組方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。 〈体育理論〉 【知識う及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方ついて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学習に積極的に取り組むこと。	○	○	○	22
2学期	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。			○	○	○	26
3学期	【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。			○	○	○	22 合計 70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和8年度（３学年用） 教科　英語　科目　英語コミュニケーションⅢ

教　科：　英語　　科　目：　英語コミュニケーションⅢ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　3 組

使用教科書：　All Aboard! English Communication Ⅲ

教科　英語　　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーション活動において、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付け、積極的に発信する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、適切に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅢ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったり	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識・技能】 [知識] 各Lessonの文法事項を用いた文の形・意味を理解している。海外の有名な建築物やアイヌの人々や北海道独特の生き物やファッションからの自己表現について学び、調べた事柄を整理・理解している。[技能] 各Lessonの文法事項の理解をもとに、海外の有名な建築物について学んだり、建築物を紹介するレポート番組を作ったり、生き物やファッションやスタイルについて相手の意見を知り、自分の意見を伝えるために調べた事柄を用いて、情報や考えを伝え合ったり、原稿を書いて発表する技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめるために、情報や考え、気持ちを話したりして伝えあおうとしている。 【定期考査】	○指導事項 ・ Lesson 1 Gifts to Barcelona to 不定詞　動名詞 ・ Lesson 2 Akkamui 現在完了形 ・ Lesson 3 Your True Colors 使役動詞 ○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末 ○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物	【知識・技能】 各Lessonで扱う文法事項の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的等に応じ、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 各Lessonにて実施するコミュニケーション活動を目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	○	○	○	55 2
2学期	【知識・技能】 [知識] 各Lessonの文法事項を用いた文の形・意味を理解している。食糧問題、マダガスカルの自然と人々の生活を通した地球環境や生態系、古代中国を統一した秦の始皇帝、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学び、調べた事柄を整理・理解している。[技能] 各Lessonの文法事項の理解をもとに、食糧問題に関するミニディベートを行ったり、マダガスカルや地域の自然の特徴について原稿を書いてプレゼンテーションをしたり、訪れたい史跡について調べたことをまとまりのあるパラグラフにしたり、再生可能エネルギーへの投資金額のグラフから情報を読み取りプレゼンテーションをする技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめるために、情報や考え、気持ちを話したりして伝えあおうとしている。 【定期考査】	○指導事項 ・ Lesson 4 Our Future Food? 受け身 ・ Lesson 5 Madagascar 関係代名詞 ・ Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors 関係代名詞の非制限用法 ・ Lesson 7 Green Challenges 比較表現 ○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末 ○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物	【知識・技能】 各Lessonで扱う文法事項の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的等に応じ、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 各Lessonにて実施するコミュニケーション活動を目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	○	○	○	55 2
3学期	【知識・技能】 [知識] 各Lessonの文法事項を用いた文の形・意味を理解している。原爆の悲惨さと平和の大切さ、雷や異常気象、電気自動車への切り替え、アメリカの宇宙開発や社会に影響を与えた人物について学び、調べた事柄を整理・理解している。[技能] 各Lessonの文法事項の理解をもとに、路面電車の運転士だった女性の経験から平和について自分の考えを話して伝え合ったり、電気自動車への切り替えについて調べた事柄を用いてミニディベートを行ったり、社会に影響を与えた人物についてまとまりのあるエッセイを書いて発表する技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめるために、情報や考え、気持ちを話したりして伝えあおうとしている。 【定期考査】	○指導事項 ・ Lesson 8 Witness of War 名詞を後ろから説明する分詞 ・ Lesson 9 The Wonders of Lightning 仮定法過去 ・ Lesson 10 Katherine's Long Journey 関係代名詞whose ○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末 ○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物	【知識・技能】 各Lessonで扱う文法事項の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的等に応じ、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 各Lessonにて実施するコミュニケーション活動を目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	○	○	○	25 1 合計 140

年間授業計画

野津田 高等学校 令和8年度（３学年用） 教科　英語　科目　英語コミュニケーションⅢ

教　科：　英語　　科　目：　英語コミュニケーションⅢ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　4 組～　5 組

使用教科書：　All Aboard! English Communication Ⅲ

教科　英語　　の目標：

【知識及び技能】　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーション活動において、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付け、積極的に発信する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、適切に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅢ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を４技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったり	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	【知識・技能】 [知識] 各Lessonの文法事項を用いた文の形・意味を理解している。海外の有名な建築物やアイヌの人々や北海道独特の生き物やファッションからの自己表現について学び、調べた事柄を整理・理解している。[技能] 各Lessonの文法事項の理解をもとに、海外の有名な建築物について学んだり、建築物を紹介するレポート番組を作ったり、生き物やファッションやスタイルについて相手の意見を知り、自分の意見を伝えるために調べた事柄を用いて、情報や考えを伝え合ったり、原稿を書いて発表する技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめるために、情報や考え、気持ちを話したりして伝えあおうとしている。 【定期考査】	○指導事項 ・ Lesson 1 Gifts to Barcelona to 不定詞　動名詞 ・ Lesson 2 Akkamui 現在完了形 ・ Lesson 3 Your True Colors 使役動詞 ○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末 ○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物	【知識・技能】 各Lessonで扱う文法事項の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的等に応じ、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 各Lessonにて実施するコミュニケーション活動を目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	○	○	○	34 2
２学期	【知識・技能】 [知識] 各Lessonの文法事項を用いた文の形・意味を理解している。食糧問題、マダガスカルの自然と人々の生活を通した地球環境や生態系、古代中国を統一した秦の始皇帝、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学び、調べた事柄を整理・理解している。[技能] 各Lessonの文法事項の理解をもとに、食糧問題に関するミニディベートを行ったり、マダガスカルや地域の自然の特徴について原稿を書いてプレゼンテーションをしたり、訪れたい史跡について調べたことをまとまりのあるパラグラフにしたり、再生可能エネルギーへの投資金額のグラフから情報を読み取りプレゼンテーションをする技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめるために、情報や考え、気持ちを話したりして伝えあおうとしている。 【定期考査】	○指導事項 ・ Lesson 4 Our Future Food? 受け身 ・ Lesson 5 Madagascar 関係代名詞 ・ Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors 関係代名詞の非制限用法 ・ Lesson 7 Green Challenges 比較表現 ○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末 ○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物	【知識・技能】 各Lessonで扱う文法事項の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的等に応じ、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 各Lessonにて実施するコミュニケーション活動を目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	○	○	○	40 2
３学期	【知識・技能】 [知識] 各Lessonの文法事項を用いた文の形・意味を理解している。原爆の悲惨さと平和の大切さ、雷や異常気象、電気自動車への切り替え、アメリカの宇宙開発や社会に影響を与えた人物について学び、調べた事柄を整理・理解している。[技能] 各Lessonの文法事項の理解をもとに、路面電車の運転士だった女性の経験から平和について自分の考えを話して伝え合ったり、電気自動車への切り替えについて調べた事柄を用いてミニディベートを行ったり、社会に影響を与えた人物についてまとまりのあるエッセイを書いて発表する技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 各Lessonの文法事項を用いて、自分の考えをまとめたり、相手の意見を聞いたり、レポートにまとめるために、情報や考え、気持ちを話したりして伝えあおうとしている。 【定期考査】	○指導事項 ・ Lesson 8 Witness of War 名詞を後ろから説明する分詞 ・ Lesson 9 The Wonders of Lightning 仮定法過去 ・ Lesson 10 Katherine's Long Journey 関係代名詞whose ○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末 ○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物	【知識・技能】 各Lessonで扱う文法事項の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的等に応じ、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 各Lessonにて実施するコミュニケーション活動を目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	○	○	○	26 1 合計 105